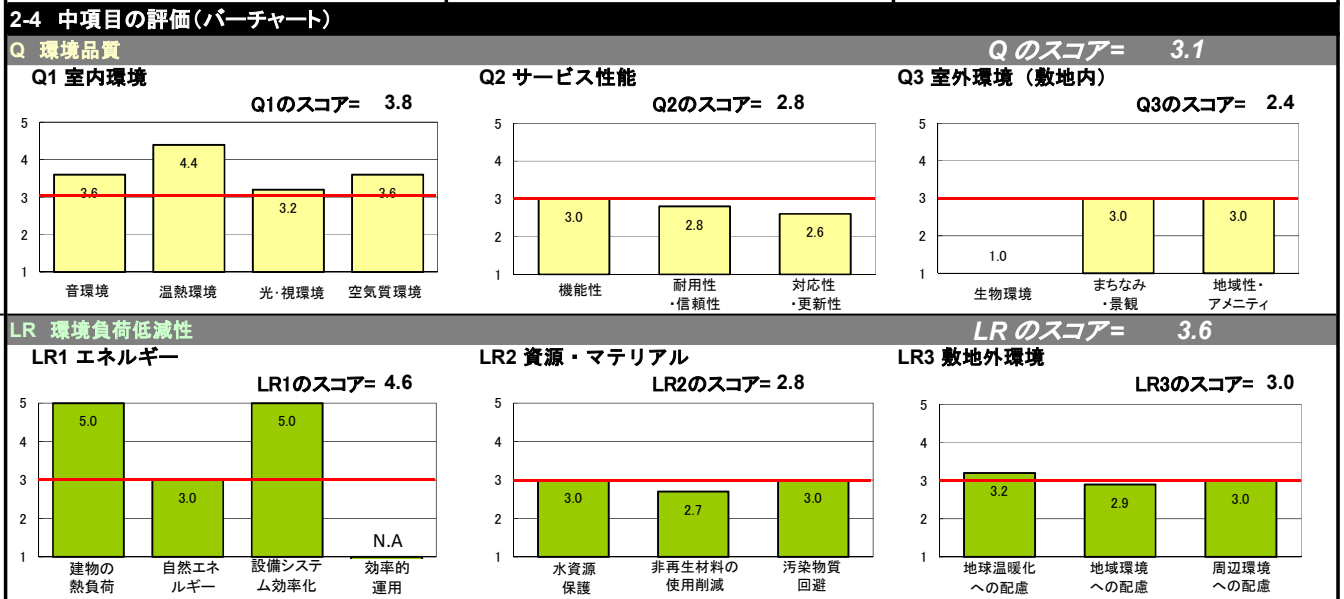
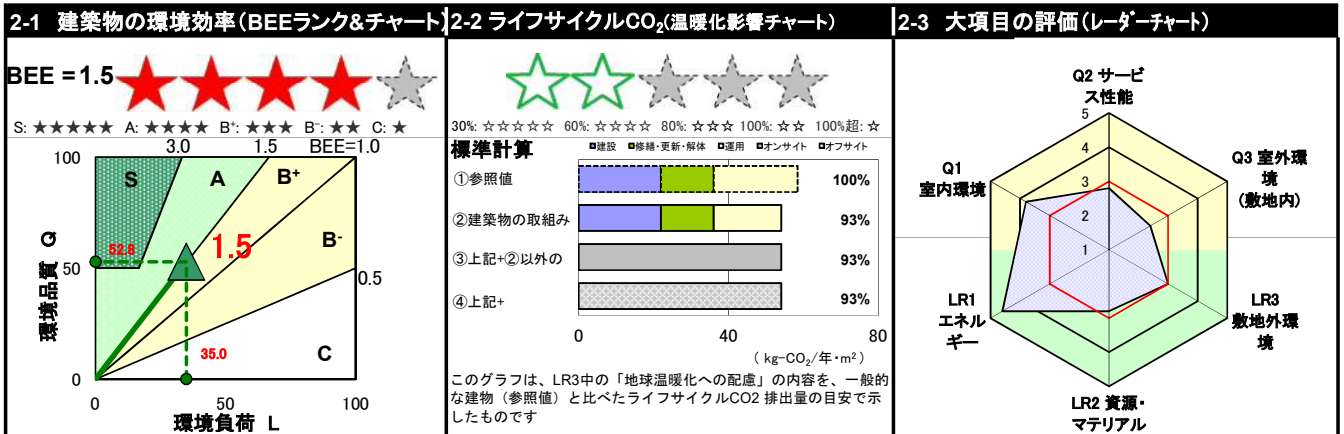


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14093

建築物名称	クリオ登戸新築工事
建築主	明和地所株式会社 代表取締役 原田 英明
建築物の所在地	川崎市多摩区登戸字辛耕地3204番他
設計者氏名、建築士事務所名	福森 茂樹 株式会社いしばし設計 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	2,625.48m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上5階
工事完了年月	平成28年8月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

1-1 建物概要		1-2 外観		14093
建物名称	クリオ登戸新築工事	階数	地上5F	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	川崎市多摩区登戸字辛耕地3204番他	構造	RC造	
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	120 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2016年8月 竣工	評価の実施日	2015年3月17日	
敷地面積	1,081 m ²	作成者	株式会社いしばし設計	
建築面積	529 m ²	確認日	2015年3月17日	
延床面積	2,625 m ²	確認者	株式会社いしばし設計	



CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

クリオ豊新築工事

14093

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.7
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準を満たす 川崎市の景観計画に則した色彩とし、良好な景観を形成している 空地率40%、緑地・水面等面積率25%	2.0/4.3	2.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	気象データを参照、地表面对策面積率19%、屋根面对策面積率20%	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.3
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.3 外皮性能 3 3.1 3.1.3 屋光利用設備 3.2 3.2.2 屋光制御	住宅性能表示基準 省エネルギー対策等級4 カーテンレール、庇により屋光制御	5.5/6.5	4.2
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準を満たす 空地率40%、緑地・水面等面積率25%	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示基準 省エネルギー対策等級4 潜熱回収型ガス給湯器を採用	4.6/5.0	4.6
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 フロン・ハロンの回避		2.6/4.6	2.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	気象データを参照、地表面对策面積率19%、屋根面对策面積率20%	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	2.6
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数		0.2/0.5	2.4
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	LGS下地を採用	2.2/3.9	2.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.2/0.4	3.0
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準を満たす 空地率40%、緑地・水面等面積率25%	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示基準 省エネルギー対策等級4 潜熱回収型ガス給湯器を採用	4.6/5.0	4.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	気象データを参照、地表面对策面積率19%、屋根面对策面積率20%	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.0**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の再利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.4	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示基準 省エネルギー対策等級4 潜熱回収型ガス給湯器を採用	4.6/5.0	4.6

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEF-川崎2011年版						欄に数値またはコメントを記入				14083
スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40			3.8
1 音環境						4.0	0.15	3.5	1.00	3.6
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル						3.0	1.00	3.0	0.50	
2 設備騒音対策								3.0	0.50	
1.2 遮音						5.0	0.50	4.0	0.50	
1 開口部遮音性能					T-3サッシを採用	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					LL45	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					LH50	3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	5.0	1.00	4.4
2.1 室温制御						3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性						-	-	-	-	
3 外皮性能		W			専有部分・省エネルギー対策等級4	3.0	0.38	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御						-	-	-	-	
6 個別制御						-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮						-	-	-	-	
8 監視システム						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.3	0.25	3.5	1.00	3.2
3.1 屋光利用						1.8	0.30	4.0	0.50	
1 屋光率					専有部分:5.4%	1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.50	
1 照明器具のグレア						-	-	-	-	
2 屋光制御		W				2.0	1.00	3.0	1.00	
3 映り込み対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆の建材を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策						-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等						-	-	-	-	
4 レジオネラ対策						-	-	-	-	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画						-	-	-	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	

Q2 サービス性能										
1 機能性										2.8
1.1 機能性・使いやすさ										3.0
1	広さ・収納性									3.0
2	高度情報通信設備対応									1.00
3	バリアフリー計画									-
1.2 心理性・快適性										0.40
1	広さ感・景観									0.50
2	リフレッシュスペース									-
3	内装計画									0.50
1.3 維持管理										-
1	維持管理に配慮した設計									-
2	維持管理用機能の確保									-
3	衛生管理業務									-
2 耐用性・信頼性										2.8
2.1 耐震・免震										-
1	耐震性									-
2	免震・制振性能									-
2.2 部品・部材の耐用年数										-
1	躯体材料の耐用年数		R							-
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		R							-
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		R							-
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		R							-
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		R							-
6	主要設備機器の更新必要間隔		R							-
2.4 信頼性										-
1	空調・換気設備									-
2	給排水・衛生設備									-
3	電気設備									-
4	機械・配管支持方法									-
5	通信・情報設備									-
3 対応性・更新性										2.6
3.1 空間のゆとり										0.50
1	階高のゆとり									0.60
2	空間の形状・自由さ									0.40
3.2 荷重のゆとり										0.50
3.3 設備の更新性										-
1	空調配管の更新性									-
2	給排水管の更新性									-
3	電気配線の更新性									-
4	通信配線の更新性									-
5	設備機器の更新性									-
6	バックアップスペース									-
Q3 室外環境(敷地内)										2.4
1 生物環境の保全と創出				G	W					1.0
2 まちなみ・景観への配慮				G						3.0
3 地域性・アメニティへの配慮										3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上										0.50
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W					0.50

LR 建築物の環境負荷低減性									3.6
LR1 エネルギー									4.6
1 建物の熱負荷抑制				W	H	省エネルギー対策等級4	5.0	0.40	5.0
2 自然エネルギー利用							3.0	0.20	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				W	H		3.0	0.50	
2.2 自然エネルギーの変換利用				W	H		3.0	0.50	
3 設備システムの高効率化				W	H	潜熱回収型ガス給湯器を採用	5.0	0.40	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)							5.0		
集合住宅の評価							5.0		
4 効率的運用									
4.1 モニタリング				W	H		3.0		
4.2 運用管理体制				W	H		3.0		
LR2 資源・マテリアル									2.8
1 水資源保護				W	R		3.0	0.15	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	1.00	
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0		
2 非再生性資源の使用量削減							2.7	0.63	2.7
2.1 材料使用量の削減				W	R		2.0	0.07	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				W	R		3.0	0.24	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				W	R		3.0	0.20	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				W	R		1.0	0.20	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				W	R		2.0	0.05	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				W	R	LGS下地を採用	4.0	0.24	
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.0	0.22	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0	0.32	
3.2 フロン・ハロンの回避							3.0	0.68	
1 消火剤				W			-		
2 発泡剤(断熱材等)				W			3.0	0.50	
3 冷媒				W			3.0	0.50	
LR3 敷地外環境									3.0
1 地球温暖化への配慮				W		潜熱回収型ガス給湯器を採用し、LCO2排出率の抑制に努めている	3.2	0.33	3.2
2 地域環境への配慮							2.9	0.33	2.9
2.1 大気汚染防止							3.0	0.25	
2.2 温熱環境悪化の改善				G	W	H	3.0	0.50	
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.7	0.25	
1 雨水排水負荷低減					R		3.0	0.25	
2 汚水処理負荷抑制					R		3.0	0.25	
3 交通負荷抑制					R		2.0	0.25	
4 廃棄物処理負荷抑制					R		3.0	0.25	
3 周辺環境への配慮							3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	
1 騒音							3.0	1.00	
2 振動							-		
3 悪臭							-		
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制							3.0	0.40	
1 風害の抑制							3.0	0.70	
2 砂塵の抑制							1.0		
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	
3.3 光害の抑制							3.0	0.20	
1 屋外照明及び屋内照明のつらみ光への対策							3.0	0.70	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	

14093

クリオ登戸新築工事

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。